



株式会社三和金属

2023 年度環境経営レポート

(対象期間: 2023 年4月1日 ~ 2024 年3月31日)



作成日: 2024年6月1日

□ごあいさつ

今、資源枯渇が叫ばれる中、時代はまさに循環型社会の実現に向け、企業の技術革新と人々の意識変化が着実に進んでおります。

その中で我々スクラップ業界が果たすべき役割は、リサイクル率向上と安定供給も含め非常に大きくなってきます。これからも日本の鉄鋼業を陰ながら支え続けていくことで、未来にわたって安心して生活できる環境づくりに寄与したいと思います。

株式会社三和金属

代表取締役 三重 慶三

環 境 経 営 方 針

当社の経営理念である「私たちは金属資源のリサイクルを通じて「循環型社会」形成の一翼を担い、人々が未来にわたって安心して生活できる環境創りに寄与します。」を基本に、リサイクル原料の製造を通じて、継続的改善を図る中で、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力、自動車燃料の脱炭素化を目指します。
3. 当社で発生する廃棄物の削減や再生利用に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. グリーン購入やグリーン調達に努めます。
6. 金属類のリサイクルを通じて循環型社会に貢献します。



制定日：2014年10月28日

改正日：2023年5月1日

代表取締役

三重 慶三

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社三和金属
代表取締役 三重 慶三
- (2) 所在地
本 社 大阪府東大阪市衣摺5丁目4番5号
アッセンブリーセンター 大阪府東大阪市柏田本町18番30号
駐車場 大阪府東大阪市衣摺3丁目21番
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 水谷 亜弥 TEL : 0 6 - 6 7 2 0 - 6 5 3 6
担当者 水谷 亜弥
- (4) 事業内容
金属リサイクル原料の仕入・加工・卸売、部品加工・組立
主要製品：鉄・ステンレス・アルミ等のスクラップ
金属屑業許可 大阪府公安委員会公認 第5031号
古物商許可 大阪府公安委員会公認 第622220145030号
計量証明事業許可 大阪府公認 第566号

- (5) 事業の規模
製品出荷額 168 百万円
主要製品生産量 1,429 トン

	本社	アッセンブリー センター	駐車場	合計
従業員（人）	6	4	0	10
延べ床面積（㎡）	700	90	260	350

- (6) 事業年度 4月1日～3月31日

- (7) 再生事業の内容

創業 1970年4月1日
法人化 2014年4月1日
資本金 2,100万円

処理フロー

 →

 →

 →

1,429t 1,429t

主要設備	数量
油圧ショベル	1台
自動圧縮切断機	2台
トラック	7台
トラックスケール	1台
X線分析計	1台

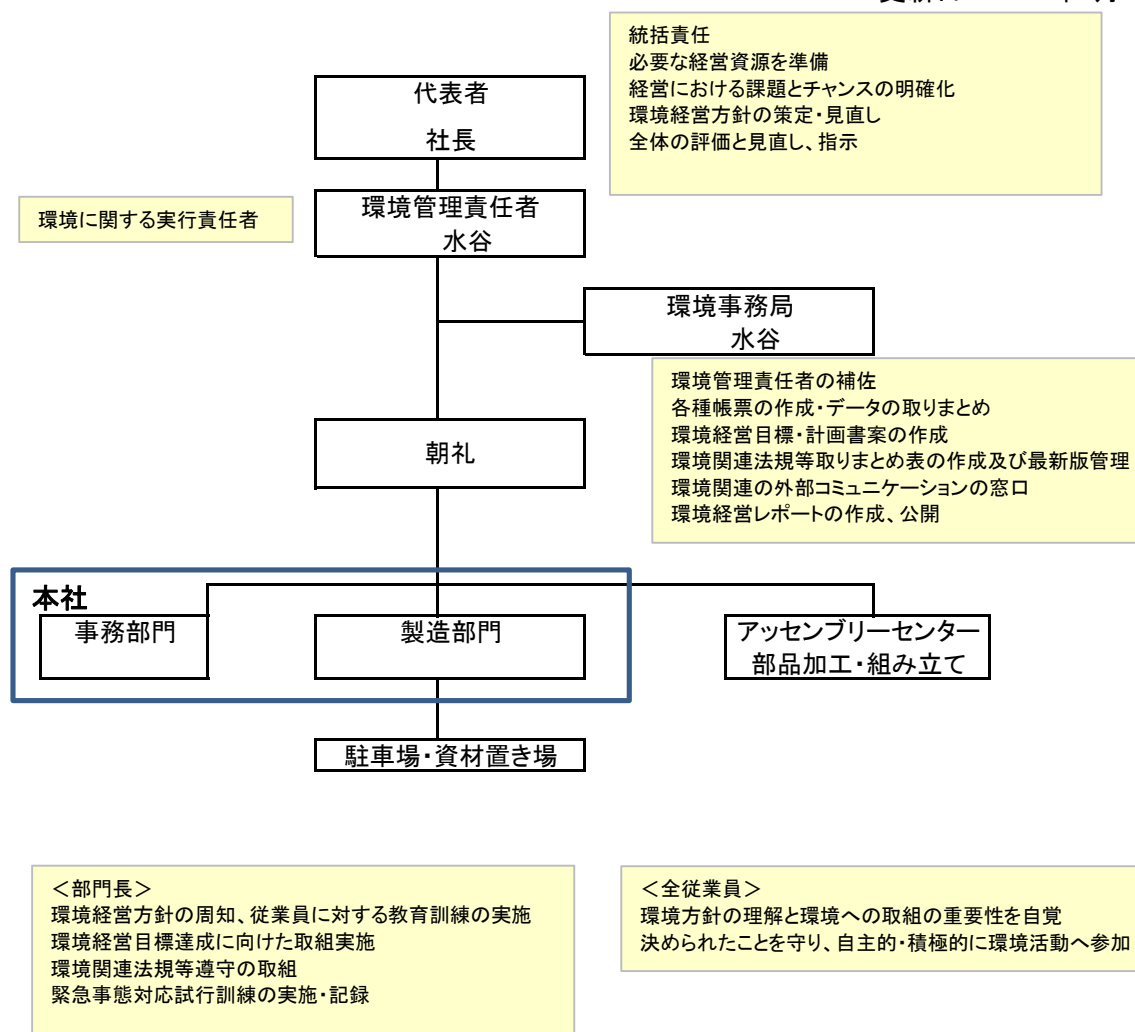
□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 株式会社三和金属
対象事業所： 本社
（全社認証範囲） アッセンブリーセンター
駐車場・資材置き場

活動： 金属リサイクル業及び金属部品の仕上げ・加工

□実施体制図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年2月10日



リガク XL2-800

X線成分分析計

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	48,620	56,795	36,551
廃棄物排出量	kg			
一般廃棄物排出量	kg	240	240	240
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
総排水量	m ³	217	193	129

※電力の二酸化炭素排出量換算係数 0.311 kg-CO₂ (2021年度 関西電力)

※二酸化炭素排出量にはLPGを含みます。

※産業廃棄物は発生しておりません。

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		2022年度 (基準値)	2023年度		2024年度 (目標)	2025年度 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	7,476	7,401	5,707	7,177	7,102
	基準年比		99%	76%	96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	49,247	48,755	30,772	44,322	44,322
	基準年比		99%	62%	90%	90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	56,723	56,156	36,479	51,499	51,425
同上二酸化炭素排出量原単位	kg-CO2/t	29.9	28.2	25.5	24.7	23.6
一般廃棄物の削減	kg	240	240	240	240	240
	基準年比		100%	100%	100%	100%
水道水の削減	m ³	193	191	129	174	174
	基準年比		99%	67%	90%	90%
グリーン購入の推進		活動のみ	電気製品、事務用品、車両のグリーン購入の推進			
金属類のリサイクル材料出荷量	トン	1,898	1,993	1,429	2,088	2,183
	基準年比		105%	75%	110%	115%

※化学物質は製造では使用しておりません。

※LPGは少量のため目標に含みません。



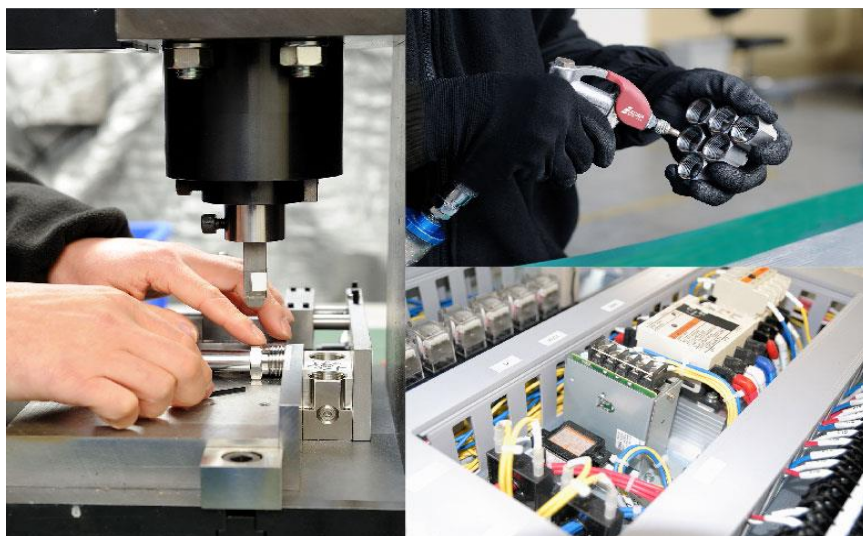
□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成
○よくできた △まあまあできた ×全くできなかった

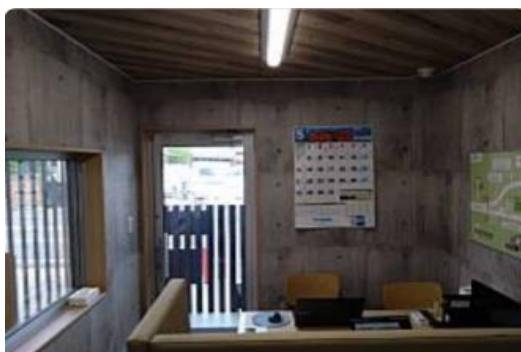
取り組み計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容																																																																								
電力による二酸化炭素削減 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に 具体的な対策を 電力(kWh) ■ 2022年 ■ 2023年 <table><tr><td>4月</td><td>2,000</td><td>1,400</td></tr><tr><td>5月</td><td>1,500</td><td>1,200</td></tr><tr><td>6月</td><td>1,900</td><td>1,200</td></tr><tr><td>7月</td><td>2,100</td><td>1,600</td></tr><tr><td>8月</td><td>2,300</td><td>1,700</td></tr><tr><td>9月</td><td>2,200</td><td>1,900</td></tr><tr><td>10月</td><td>2,000</td><td>1,700</td></tr><tr><td>11月</td><td>1,500</td><td>1,100</td></tr><tr><td>12月</td><td>1,500</td><td>1,300</td></tr><tr><td>1月</td><td>2,600</td><td>1,600</td></tr><tr><td>2月</td><td>2,700</td><td>1,700</td></tr><tr><td>3月</td><td>1,800</td><td>1,900</td></tr></table>				4月	2,000	1,400	5月	1,500	1,200	6月	1,900	1,200	7月	2,100	1,600	8月	2,300	1,700	9月	2,200	1,900	10月	2,000	1,700	11月	1,500	1,100	12月	1,500	1,300	1月	2,600	1,600	2月	2,700	1,700	3月	1,800	1,900																																				
4月	2,000	1,400																																																																									
5月	1,500	1,200																																																																									
6月	1,900	1,200																																																																									
7月	2,100	1,600																																																																									
8月	2,300	1,700																																																																									
9月	2,200	1,900																																																																									
10月	2,000	1,700																																																																									
11月	1,500	1,100																																																																									
12月	1,500	1,300																																																																									
1月	2,600	1,600																																																																									
2月	2,700	1,700																																																																									
3月	1,800	1,900																																																																									
数値目標	○	1年の後半に省エネへの取り組みが浸透したこともあり、基準年度と比べて、5%削減した。次年度も引き続き休憩時間の消灯、使用していない時の電源のOFFに加えて、作業の効率化により、作業時間の短縮に取り組んでいく。																																																																									
・アリゲーター機の使用時以外は電源を切る	○																																																																										
・スポットクーラーと工場扇の使用時以外は電源を切る	○																																																																										
・作業の効率化	○																																																																										
・エアコンの適正使用	○																																																																										
・太陽光発電システムの設置検討	○																																																																										
自動車燃料による二酸化炭素削減 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に 具体的な対策を ガソリン(L) ■ 2022年 ■ 2023年 <table><tr><td>4月</td><td>400</td><td>300</td></tr><tr><td>5月</td><td>300</td><td>220</td></tr><tr><td>6月</td><td>400</td><td>120</td></tr><tr><td>7月</td><td>320</td><td>120</td></tr><tr><td>8月</td><td>400</td><td>120</td></tr><tr><td>9月</td><td>400</td><td>120</td></tr><tr><td>10月</td><td>300</td><td>180</td></tr><tr><td>11月</td><td>380</td><td>120</td></tr><tr><td>12月</td><td>350</td><td>180</td></tr><tr><td>1月</td><td>320</td><td>80</td></tr><tr><td>2月</td><td>200</td><td>80</td></tr><tr><td>3月</td><td>380</td><td>120</td></tr></table> 軽油(L) ■ 2022年 ■ 2023年 <table><tr><td>4月</td><td>1,500</td><td>500</td></tr><tr><td>5月</td><td>1,500</td><td>500</td></tr><tr><td>6月</td><td>1,000</td><td>500</td></tr><tr><td>7月</td><td>1,500</td><td>500</td></tr><tr><td>8月</td><td>1,500</td><td>500</td></tr><tr><td>9月</td><td>500</td><td>500</td></tr><tr><td>10月</td><td>1,000</td><td>500</td></tr><tr><td>11月</td><td>500</td><td>500</td></tr><tr><td>12月</td><td>1,000</td><td>500</td></tr><tr><td>1月</td><td>500</td><td>500</td></tr><tr><td>2月</td><td>500</td><td>500</td></tr><tr><td>3月</td><td>1,000</td><td>500</td></tr></table>				4月	400	300	5月	300	220	6月	400	120	7月	320	120	8月	400	120	9月	400	120	10月	300	180	11月	380	120	12月	350	180	1月	320	80	2月	200	80	3月	380	120	4月	1,500	500	5月	1,500	500	6月	1,000	500	7月	1,500	500	8月	1,500	500	9月	500	500	10月	1,000	500	11月	500	500	12月	1,000	500	1月	500	500	2月	500	500	3月	1,000	500
4月	400	300																																																																									
5月	300	220																																																																									
6月	400	120																																																																									
7月	320	120																																																																									
8月	400	120																																																																									
9月	400	120																																																																									
10月	300	180																																																																									
11月	380	120																																																																									
12月	350	180																																																																									
1月	320	80																																																																									
2月	200	80																																																																									
3月	380	120																																																																									
4月	1,500	500																																																																									
5月	1,500	500																																																																									
6月	1,000	500																																																																									
7月	1,500	500																																																																									
8月	1,500	500																																																																									
9月	500	500																																																																									
10月	1,000	500																																																																									
11月	500	500																																																																									
12月	1,000	500																																																																									
1月	500	500																																																																									
2月	500	500																																																																									
3月	1,000	500																																																																									
数値目標	○	基準年度に比べて、トラックの台数も増え、本社での引取先及び納品先が増加したが、38%の削減となった。次年度は、積載効率を考え配送の効率化に取り組んでいく。																																																																									
・不要なアイドリングストップとエコドライブ	○																																																																										
・集荷・配送コースの効率化	○																																																																										

一般廃棄物の削減		11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任																																							
数値目標	○	取り組みも浸透し前年度の数値を維持できている。 次年度は、できるだけ分別して再使用やリサイクルを図っていく。																																							
・裏紙使用を徹底する	○																																								
・帳票の見直し（3枚つづり→2枚つづりへ）	○																																								
水道水の削減		6 安全な水とトイレを世界中に																																							
数値目標	○	人数の増加もあり、水道使用が多くなったが後半の節水活動の浸透により、削減となった。次年度も、継続して節水に努めていく。																																							
・日常時の節水励行	○																																								
グリーン購入の推進		12 つくる責任 つかう責任																																							
・省エネ性能の高い電気製品の購入	△	事務所の改装を行った際に、入口のガラスは二層ガラスの採用、LED電気の採用等グリーン購入を行った。今後も電気製品を買い替える時は、省エネマークを意識して選択するようにする。																																							
・燃費のよい自動車の採用	○																																								
金属類のリサイクル材料出荷量 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任		出荷量(t) ■ 2022年 ■ 2023年 <table border="1"> <caption>出荷量(t) (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2022年 (t)</th> <th>2023年 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>180</td><td>150</td></tr> <tr><td>5月</td><td>220</td><td>120</td></tr> <tr><td>6月</td><td>160</td><td>110</td></tr> <tr><td>7月</td><td>170</td><td>120</td></tr> <tr><td>8月</td><td>80</td><td>60</td></tr> <tr><td>9月</td><td>190</td><td>100</td></tr> <tr><td>10月</td><td>180</td><td>140</td></tr> <tr><td>11月</td><td>150</td><td>130</td></tr> <tr><td>12月</td><td>140</td><td>90</td></tr> <tr><td>1月</td><td>110</td><td>100</td></tr> <tr><td>2月</td><td>90</td><td>100</td></tr> <tr><td>3月</td><td>150</td><td>160</td></tr> </tbody> </table>	月	2022年 (t)	2023年 (t)	4月	180	150	5月	220	120	6月	160	110	7月	170	120	8月	80	60	9月	190	100	10月	180	140	11月	150	130	12月	140	90	1月	110	100	2月	90	100	3月	150	160
月	2022年 (t)	2023年 (t)																																							
4月	180	150																																							
5月	220	120																																							
6月	160	110																																							
7月	170	120																																							
8月	80	60																																							
9月	190	100																																							
10月	180	140																																							
11月	150	130																																							
12月	140	90																																							
1月	110	100																																							
2月	90	100																																							
3月	150	160																																							
・収集先の拡大（営業強化）	○	取引先からの信頼や新規取引先の成果もあり、順調に出荷量も増加していたが、後半は取引先の在庫調整もあり、最終的には前年度の出荷額を維持することができなかった。次年度は、出荷額増に備えて生産の効率化を図っていく。																																							
・切断加工の効率化	△																																								
・人材確保（就労支援研修生の受け入	○																																								

□アッセンブリーセンターの紹介



□本社事務所の改修



入口ドアのガラスは二層化
照明はLED
椅子とテーブルは木質

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

廃棄物処理法	一般廃棄物
騒音規制法・振動規制法	剪断機（シャーリング）、切断機（砥石）、油圧プレス
自動車NOx・PM法	トラック 5 台
フロン排出抑制法	スポットクーラー 1 台、業務用エアコン 1 台
消防法	軽油 2 0 0 L、アセチレンガス

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘、訴訟は過去 3 年間ありませんでした。

□環境に関する外部からの苦情・要請等

環境に関する外部からの苦情や要請等はありませんでした。

□緊急事態対応訓練

訓練実施日： 2023年6月20日 午後1時～1時30分
 内容： 消火器の確認 消火器の取扱い訓練
 訓練の状況：



消火器の位置確認



消火器取扱い訓練



評価： ・ 消火器の場所の再認識ができた。
 ・ 消火器は使用期限内であることを確認した。

手順書の変更： 必要なし

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年5月31日

	課題	チャンス
内部	教育訓練 社内ルールの確立	在庫調整が可能で安定供給が可能 品質に信頼性がある 就労支援研究生の雇用
外部	仕入れ価格と販売価格の変動大きい 業務量の変動大きい	リサイクルサプライチェーンの中にある 半導体産業の盛況

【今回の評価結果と今後の経営視点】

①エコアクション取得の目的・近年金属資源のリサイクルの品質向上が世界的な課題となっております。その理由としてリサイクル時の再ゴミ発生、つまり金属取り出し及び除去の際のプラスチックなどの金属以外の処理が膨大になり、またおのずとして樹脂や断熱材などの分別分解の困難な物質の処理が世界各国の環境破壊につながるとの見解から、日本から対輸出、特に中国・韓国含む東南アジアなどの国へのリサイクル資源の輸出に關してのトラブルがあつたとをたぢません。この問題を解決していくためにはリサイクルに對しての正しい知識、つまり国全体が環境国家への成長・変貌を成し遂げる確固たる意識が必要となり、これら国家ベースの意識改革の先頭に我々リサイクル業界が置かれているという現状があります。まず相手を知る前に自らを知る、業界全体そして会社としてどれくらいのリサイクル率や分別回収、ならびに金属の再溶解へ道付けをできているかの数値を把握すること。この部分が不可欠な取り組みとなつてきております。今後はこれら数値の全社を挙げての認識から意識浸透、そして各個人の取り組み、お客様への波及、そういった地道な活動を通して、リサイクルが世界を未来永劫人々の生活の一助となり続けれるよう、活動推進に力を注いでいかなければなりません。

②今年度はリサイクル出荷量が75%で目標達成となりませんでした、来年以降半導体業界の盛況により回収数量も高められると考えています。また、アッセンブリセンターでは引き続き就労支援など社会貢献も含めた活動が定着してきました。環境負荷についてはアッセンブリセンターを含めた全社でEA21に取組み脱炭素社会・循環型社会の構築に貢献するよう努力したいと考えています。

環境方針： 変更なし
 環境目標： 変更なし
 実施体制： 変更なし